

オンライン

特別講座

令和5年度

(2023年度)

受講料  
無料

# 球磨川流域圏 バーチャルキャンパス

KUMA RIVER BASIN VIRTUAL CAMPUS

受講期間 令和5年9月1日(金)～令和6年2月29日(木)

令和2年7月豪雨による災害からの創造的復興をめざし、球磨川流域圏の文化、歴史、環境をテーマにした無料公開講座を開催します。球磨川流域圏の地域としての魅力を発信し、多くの方に本地域に対する理解を深めていただき、復興活動を支援することを目的とした講座内容です。



熊本県立大学

Prefectural University of Kumamoto

オンライン

特別講座

# 球磨川流域圏 バーチャルキャンパス

KUMA RIVER BASIN VIRTUAL CAMPUS

第1回

9月1日(金)配信予定

[専門] 河川工学



島谷 幸宏

Shimatani Yukihiro

熊本県立大学共通教育センター  
緑の流域治水研究室 特別教授

## 緑の流域治水 2022年度の進展

一昨年発足した地域共創拠点は、流域治水の概念、流域治水の技術（河道拡幅、雨庭、迫湿地、田んぼダム）、流域治水×観光、IoT、生物多様性などの流域治水と産業創成・持続的な社会を形作るために研究を実施しています。拠点研究の一年間の進展の状況、イギリスのナチュラルフラッドマネージメントとの比較について講義します。

[主な経歴]

2003年 九州大学大学院工学研究院環境都市部門 教授  
1999年 九州大学 博士(工学)取得

第2回

9月7日(木)配信予定

[専門] 公共交通



永江 友二

Nagae Yuuji

くま川鉄道株式会社 取締役社長

## 人吉球磨における くま川鉄道の存在意義

少子高齢化、人口減少による衰退の危機と正面から向き合う人吉球磨。開業以来、赤字経営が続いている中、令和2年の豪雨災害で被災し、廃線か存続かを問われ、公金をかけて鉄道を残した人吉球磨における地域交通機関としての鉄道の必要性について考えます。

[主な経歴]

2015年 くま川鉄道株式会社 社長

第3回

9月14日(木)配信予定

[専門] 気象、防災、宇宙天気



齊田 季実治

Saita Kimiharu

気象予報士/気象キャスター

新たな気象災害と対策  
～気象情報の最前線～

気象情報は、行動に移して初めて意味のあるものになります。情報をどのように入手して、活用すべきか、激甚化した近年の気象災害の事例を踏まえて学びます。文明進化型の新たな災害「宇宙天気」についてもお伝えします。

[主な経歴]

2018年 株式会社ヒンメル・コンサルティング代表取締役  
1999年 気象予報士 取得

第4回

9月21日(木)配信予定

[専門] 海洋生態学、沿岸環境学



堤 裕昭

Tsutsumi Hiroaki

熊本県立大学 学長・特任教授

球磨川流域における大雨発生が  
河口域に及ぼす影響

熊本県では梅雨期の後半になるとしばしば集中豪雨が発生します。球磨川流域で大雨が発生すると、球磨川を通して最終的には河口から大量の河川水が八代海に流れ込みます。その時、河口の周囲の沿岸域における環境の変化や生態系にもたらされる影響について解説します。

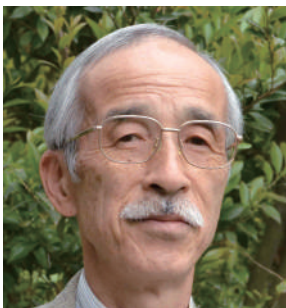
[主な経歴]

1999年 熊本県立大学環境共生学部 環境資源学専攻 教授  
1985年 九州大学大学院理学研究科博士課程 修了 理学博士

第5回

9月28日(木)配信予定

[専門] 地質古生物学



大木 公彦

Ohki Kimihiko

鹿児島大学 名誉教授

球磨川流域から恐竜化石は  
見つからない？八代海の謎

球磨川流域には恐竜時代の地層が露出しています。しかし恐竜の化石は見つかっていません。一方、御所浦島や鹿児島県の獅子島に分布する同じ時代の地層からは複数の恐竜化石が見つかっています。不思議ですね。その答えは両地域の間にある八代海にありそうです。

[主な経歴]

2001年 鹿児島大学総合研究博物館・理工学研究科 教授  
1987年 東北大学 博士(理学)取得

第6回

10月5日(木)配信予定

[専門] 日本中世史



三村 講介

Mimura Kousuke

人吉市 復興建設部  
都市計画課 主席

もっと知りたい！  
日本遺産人吉球磨

平成27年に日本遺産に認定された人吉球磨地域のストーリー「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～」について、その構成文化財をテーマ別に紹介しながら、人吉球磨地域の魅力・素晴らしさをお伝えします。

[主な経歴]

2011年 人吉市役所 入庁  
2010年 九州大学 博士(文学)取得

第7回

10月12日(木)配信予定

[専門] 郷土歴史



大平 和明

Ohira Kazuaki

山江村歴史民俗資料館 館長

山江村の歴史と文化

山江村歴史民俗資料館に所蔵している歴史資料を紹介しながら、山江村(人吉球磨)の歴史と文化を学んでいきます。

- ・隠れ念仏
- ・中世城 山田城・高城
- ・山江のほとけさん
- ・麻の栽培史 etc.

[主な経歴]

2017年 山江村歴史民俗資料館 館長

第8回

10月19日(木)配信予定

[専門] 行政学、公共政策



井寺 美穂

Idera Miho

熊本県立大学総合管理学部  
准教授

コミュニティ政策としての  
地域担当職員制度

少子高齢化や若者の地域離れに起因する多様な地域課題が山積するなかで、地域と行政のパイプ役となりながら住民自治を促すとともに、自身もまちづくりの担い手として活動する地域担当職員(制度)に焦点をあてながら、人口減少時代のまちづくりの一方策について考えます。

[主な経歴]

2013年 熊本県立大学総合管理学部総合管理学科 専任講師  
2010年 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科 博士後期課程 修了  
博士(アドミニストレーション) 取得

第9回

10月26日(木)配信予定

[専門] 食品加工、農商工連携による商品開発



堤 えみ

Tsutsumi Emi

農産加工アドバイザー

## 球磨川流域の食と農を育む 素敵な人たち

熊本県南地域では、豊富な農林水産物を活かし「食」に関連した産業の振興と地域の活性化を目指しています。地域愛にあふれ、食と農の発展に取り組む素敵な農業者や地元企業の紹介を通して、県南地域の魅力をお伝えします。

[主な経歴]

2015年 熊本県アグリシステム総合研究所 アグリビジネス支援室長  
1982年 熊本県庁入庁

第10回

11月2日(木)配信予定

[専門] 農業



釜 博信

Kama Hironobu

KAMA FARM 代表

## 前へ ~どん底から這い上がる~

KAMA FARMは芦北町にあり、露地野菜を14ha(東京ドーム約3個分)の農地で育てています。作物はすべて化学肥料と農薬を熊本県の基準の半分以下に抑えた特別栽培農産物です。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中で令和2年7月豪雨で被災し、絶望の淵に立ちました。多くの人々の支援を受け、復興へ取り組んできた道のりをお話します。

[主な経歴]

2015年 くまもと農業経営塾6期生  
2013年 KAMA FARM代表

第11回

11月9日(木)配信予定

[専門] 生態学、環境教育、科学教育



遠藤 晃

Endo Akira

南九州大学人間発達学部 教授

## 増えるシカと減るカモシカ :野生鳥獣と人間の共生について考える

日本中で激増し深刻な農林業被害を引き起こしているニホンジカと、九州・四国で激減しその存続が危ぶまれている国の特別天然記念物ニホンカモシカ。本講義では、これらの問題を人間の関与という視点も含めて学び、野生鳥獣と人間の共生について考えます。

[主な経歴]

2010年 南九州大学人間発達学部 准教授  
1997年 九州大学大学院理学研究科博士課程修了 博士(理学)



第12回

11月16日(木)配信予定

[専門] 森林流域管理学



蔵治 光一郎

Kuraji Koichiro

東京大学大学院  
農学生命科学研究科 教授

## 森林の保水力と流域治水

森林は、大雨の水を一時的に保水し、川にゆっくりと流す機能を持っています。球磨川流域の約8割は森林であり、球磨川の洪水は森林から流れ出てきた水です。森林の保水力とは何かを学び、流域治水における森林の保水力の重要性を学びます。

[主な経歴]

2001年 東京大学大学院農学生命科学研究科 講師  
1996年 東京大学大学院農学生命科学研究科 博士課程修了(博士(農学))

第13回

11月22日(水)配信予定

[専門] 行政学、地方自治、公共経営



明石 照久

Akashi Teruhisa

熊本県立大学 名誉教授  
一般財団法人たらぎまちづくり推進機構 代表理事

## 暮らしの安心と安全を支える 「地域のつながり」

「地域のより良い関係」(社会関係資本)は防災減災に大きな力を発揮します。「地域のより良いつながりづくり」が地域住民の安心で安全な暮らしを支える大事な要素であることを、自身が経験した震災や水害などの具体的な事例に即してご説明します。

[主な経歴]

2020年 (一財)たらぎまちづくり推進機構 代表理事  
2001年 神戸大学博士(法学)取得

本講座視聴のための

## Microsoft Teams 操作説明会

無料

「Microsoft Teamsって何?」「使ったことがない」「どうやって受講できるの?」そんな初心者向けの説明会です。参加を希望される方は、本講座応募フォームの「Microsoft Teams 操作説明会」参加希望の欄にチェックしてください。

〈開催日〉 7月20日(木)、7月25日(火)、8月28日(月)、8月30日(水)

※開催時間については、応募フォームをご覧ください。

〈場 所〉 熊本県立大学(対面により実施します)

〈定 員〉 各回先着5名

※本講座を視聴するためのPCやタブレットなどの端末をお持ちください。端末の貸し出しはありません。

# 球磨川流域圏バーチャルキャンパス

KUMA RIVER BASIN VIRTUAL CAMPUS

## 令和4年度(2022年度)講座アーカイブ配信

令和4年度講座の中から、引き続き配信可能な15講座をアーカイブ配信します。  
令和5年度の受講生は、期間中いつでも視聴できます。

01	流域治水の概論	熊本県立大学共通教育センター 緑の流域治水研究室 特別教授	島谷 幸宏
02	グリーンインフラと世界の河川と流域治水	熊本県立大学共通教育センター 緑の流域治水研究室 特別教授	島谷 幸宏
03	大雨を知り、大雨災害を防ぐ	NPO法人 環境防災総合政策研究機構 理事	村中 明
04	災害と復興まちづくり	熊本県立大学環境共生学部 居住環境学専攻 教授	柴田 祐
05	伝統治水方式と流域治水	熊本県立大学共通教育センター 緑の流域治水研究室 特別教授	島谷 幸宏
06	3億年の歴史から読み解く 球磨川流域の成り立ち	鹿児島大学 名誉教授	大木 公彦
07	令和2年7月熊本豪雨で被災した 登録有形文化財人吉旅館と芳野旅館の再生	一級建築士事務所 もやいデザイン工房 代表	磯田 節子
08	Eco-DRRと将来の流域治水のあり方	熊本県立大学共通教育センター 緑の流域治水研究室 特別教授	島谷 幸宏
09	球磨川流域の生き物のくらしとその保全	熊本県立大学 緑の流域治水 学術研究員	一柳 英隆
10	球磨川流域の森林の歴史と現在	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授	蔵治 光一郎
11	ニホンカモシカの保護と ニホンジカ、森、そして人間	南九州大学人間発達学部 教授	遠藤 晃
12	球磨川下流域の神社やお堂、 伝承にみる水の暮らし	熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科 教授	森山 学
13	中世の球磨地域と相良氏	熊本学園大学経済学部 教授	小川 弘和
14	酸素マイクロバブルを用いた農作物栽培技術が 農業に新たな技術革新をもたらす	熊本県立大学 学長・特任教授	堤 裕昭
15	球磨川流域圏の自然・文化資本を活かす ～球磨焼酎による地域活性化～	公益財団法人地方経済総合研究所 事業連携部兼研究開発部 部長	宮野 英樹

令和5年度(2023年度)

オンライン特別講座

# 球磨川流域圏バーチャルキャンパス

KUMA RIVER BASIN VIRTUAL CAMPUS

令和5年9月1日(金)～令和6年2月29日(木)開講

受講料  
無料

## 受講生募集

熊本県立大学オンライン特別講座「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」の受講生を募集します。期間中配信する全13講座の中から、興味のあるものを選んで受講いただけます。もちろん全講座受講もできます。また、令和4年度に配信した中から15の講座をあわせて視聴いただけます。

### 受講方法

Microsoft Teamsを利用したオンデマンド配信を、PCやタブレットなどの端末をご自身で操作して受講いただけます。各講座の配信開始以降は、期間中であればいつでも受講できます。端末の貸し出しはありませんのでご了承ください。

※操作に不安のある方は「Microsoft Teams操作説明会」をご利用ください。

### 受講要件

- 高校生以上であること
- 個人のEメールアドレス、及び電話番号を有すること  
(Microsoft Teamsのログインに必要です)
- 受講規約(ホームページ上に公開)に同意すること

### 申込方法

WEBサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載している応募フォームからお申込ください。

<https://puk-loveratory.com/news/9698/>



### 申込締切

令和5年7月31日(月)

### 定員

先着300名

### 受講決定通知

令和5年8月18日(金)までに発送

受講決定通知書およびユーザーIDは、登録いただいた住所に郵送し、パスワードや使い方マニュアルは、別途登録Eメールアドレスへ送信します。

### 問合せ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

TEL. 096-321-6612

E-mail. [puk-renkei@pu-kumamoto.ac.jp](mailto:puk-renkei@pu-kumamoto.ac.jp)